

市町村名	11南城市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	インバウンド受入環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(6)-7 沖縄のソフトパワーを活用した 新事業・新産業の創出			
担当部課名	企画部	観光商工課	事業実施 年度	平成 28	~ 令和 2	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	外国人観光客の誘客及び満足度を確保するため、インバウンドに対するニーズ調査を行い、効果的なインバウンド対策の検討や本市のプロモーションを行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		~H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計		
	A. 予算現額	8,136	7,537	7,657	14,322	37,652		
	B. 執行済額	8,108	7,516	7,657	14,322	37,603		
	うち 交付金充当額	6,485	6,012	6,125	11,458	30,080		
	執行率(%) (B/A)	99.7%	99.7%	100.0%	100.0%	99.9%		
執行状況の説明	概ね予定通り予算を執行することができた。							
事業期間中 の活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	外国人観光客の動向及び市内における受入 実態の調査	目標					実態調査の 実施	
		実績					実態調査の 実施	
	市内の受入体制強化	目標					体制強化の 実施	
		実績					体制強化の 実施	
旅行商品開発	目標					商品開発		
	実績					商品開発		
事業期間中 の成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	学生のSNS等による南城市情報拡散記事件 数	目標		30件				
		実績		30件				
	斎場御嶽における外国人観光客数	目標			40,000人 以上	40,000人 以上	30,000人 以上	
		実績			26,367人	21,194人	343人	
南城市が満足できる観光地となっているか (80%以上)を含め、市に訪れた外国人を対 象としたアンケートにより本事業の効果を検 証する	目標					80%以上		
	実績					アンケート調 査中止		

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		R2年度	R3年度	R4年度 目標/発現年度	R5年度	R6年度	
事業完了後の成果目標	南城市が満足できる観光地となっているか(80%以上)を含め、市に訪れた外国人を対象としたアンケートにより本事業の効果を検証する。	目標	80%以上	80%以上	80%以上		
		実績	アンケート調査中止	アンケート調査中止	アンケート調査中止		
	目標						
	実績						

状況説明

【R2年度】
・コロナ禍の影響により、斎場御嶽を訪れた外国人観光客を対象としたアンケート調査を実施することができなかった。

【R3年度】
・コロナ禍の影響により、斎場御嶽を訪れた外国人観光客を対象としたアンケート調査を実施することができなかった。

【R4年度】
・コロナ禍の影響により、斎場御嶽を訪れた外国人観光客を対象としたアンケート調査を実施することができなかった。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R2年度】 ・香港、オーストラリア、シンガポール、台湾の訪日経験のある方を対象に実施した海外市場調査において、本市の観光スポットでの体験メニューに関心を示した割合は67.6%ととなった。</p> <p>【R3年度】 ・コロナ禍であるが外国人観光客数はR2年度よりも回復傾向にある。市内観光事業者においてもコロナの感染対策も施しており、外国人観光客数の呼び込みも出来ている。</p> <p>【R4年度】 ・市における外国人観光客数はコロナ禍の状況から、コロナ禍前の状況に戻つつある。</p>	<p>【R2年度】 ・海外市場調査の結果を踏まえ、新たな分野や多様なニーズへ対応したテーマ別商品と、リモートツアー版のテーマ別商品の作成を検討する。</p> <p>【R3年度】 ・コロナ禍により香港など近隣諸国で健康に関する分野の需要が上がりつつある。事業を通しての市場調査結果をフィードバックし地域事業者と協力し健康志向の観光コンテンツ作成を図る。</p> <p>【R4年度】 ・アフターコロナに向け本格的に外国人観光客を迎え入れる為の観光コンテンツの作成を図る。</p>
--	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R2年度】
・「のんびり」や「くつろぎ」、「食」といった海外市場調査結果のニーズに対応するため、心身の健康の維持・充実をテーマにした体験・滞在型のウェルネスプログラムを中心に商品の作成に取り組む。

【R3年度】
・中止となったアンケートは今年度、第2次南城市観光振興計画見直しの際に検証する。
・海外観光客の旅行需要における、アフターコロナ、ウィズコロナの状況にも対応出来るよう、事業を通じて得た市場調査結果やリモートツアープログラム等を活用し市内外国人観光客数の回復を目指す。

【R4年度】
・本格的なコロナ明けの後の観光需要に対応するため、市の観光資源を活かしたコンテンツの作成。
・コロナ禍で滞っていた香港理工大学との交流の再開を目指し、海外マーケティングやインバウンド受入の推進を図る。

市町村名	11南城市
------	-------

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	観光交通実証調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(6)-7	
	沖縄のソフト・パワーを活用した新事業・新産業の創出					
担当部課名	企画部	観光商工課	事業実施年度	令和元年度 ~ 令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
観光客の利便性向上を図るため、本市の地域特性に合った観光交通のあり方や移動の利便性などを考慮したサービスの提供方法について検討を行う。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の予算額・執行額【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計
	A. 予算現額		9,592	35,557		
B. 執行済額		9,592	35,354			44,946
うち 交付金充当額		7,673	28,283			35,956
執行率(%) (B/A)		100.0%	99.4%			99.6%
執行状況の説明	概ね予定通り予算を執行することができた。					

事業期間中の活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
有識者へのヒアリング、来訪者の動態調査、首都圏及び外国人のニーズ調査、検討委員会の開催	目標	実施				
	実績	実施				
バス停から観光資源までの交通手段を検討する実証調査の実施	目標		実施			
	実績		実施			
	目標					
	実績					

事業期間中の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
南城市観光交通実施計画策定完了	目標	策定完了				
	実績	策定完了				
実証調査の完了	目標		調査完了			
	実績		調査完了			
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R4年度 目標/発現年度	年度	年度	年度	年度
	【R4成果目標】 R1年度に策定した実施計画に基づいた施策を展開し、観光客の市内交通に関する利便性確保を通して観光交流の振興・拡大につなげる。	目標	取組実施			
	実績	取組実施				
	目標					
	実績					
状況説明	【R4年度】 ・NECと連携し南城市内のシームレスな交通機関の予約が取れるシステムの実証を行った。					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

<p>【R4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響により例年より観光客の落ち込みがあり公共機関の利用も鈍化している。 	<p>【R4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本格的なアフターコロナに備え観光交通の利用促進できる仕組み作りに取り組む。
---	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市線バスの利用を促進するため、修学旅行生をターゲットに市線バスを活用した市内観光プログラムを提供する。
--

市町村名	11南城市							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	東御廻り等・体験交流受入整備強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-7 国際的な沖縄観光ブランドの確立			
	担当部課名	企画部	観光商工課	事業実施 年度	平成 27	令和 3	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
事業内容	観光地として魅力的な景観形成を図るため、世界遺産斎場御嶽をはじめ、東御廻りに関する周辺エリアの整備、計画の策定、記念シンポジウムの実施、周辺エリアの担い手育成、国内における聖地ネットワーク構築、商品化のためのモデルツアー等を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計		
	A. 予算現額	183,150	7,986	25,157	24,773	241,066		
	B. 執行済額	162,126	7,986	25,100	22,561	217,773		
	うち 交付金充当額	129,699	6,388	20,080	18,048	174,215		
	執行率(%) (B/A)	88.5%	100.0%	99.8%	91.1%	90.3%		
執行状況の説明		概ね予定通り予算を執行することができた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	地域関係者と連携した観光プログラムの開発、モニターツアーの実施	目標				実施		
		実績				実施		
	聖地観光の普及啓発 (シンポジウムの開催、聖地所在自治体のネットワーク構築)	目標				実施		
		実績				実施		
	休憩施設(日陰棚及びベンチ)の設置完了	目標					設置	
		実績					設置	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	世界遺産斎場御嶽周辺エリアの景観形成計画策定完了	目標			策定完了			
		実績			策定完了			
	斎場御嶽を活用した滞在型観光プログラムの開発完了、商品化	目標				商品化		
		実績				商品化		
	休憩施設(日陰棚及びベンチ)の設置完了	目標					設置完了	
		実績					設置完了	

事業完了後の取り組み						
	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R3年度	R4年度 目標/発現年度	年度	年度	年度
事業完了後の成果目標	【R3成果目標】 観光客を対象にアンケートを実施し、観光地として魅力的な景観となっているか(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する。	目標	80%以上	80%以上		
		実績	中止	81.7%		
	【R3成果目標】 滞在型観光プログラムの利用者数:延べ100人以上	目標	100人以上	100人以上		
		実績	中止	40人		
	【R4成果目標】 市内滞在時間 1.65日以上	目標		1.65日以上		
		実績		1.47日		
状況説明	<p>【R3年度】 ・コロナ禍における観光客数減の影響によりアンケート、滞在型観光プログラムの活用は実施出来ない状況となった。</p> <p>【R4年度】 ・令和2年度に実施した体験滞在型プログラムを活用し、南城市観光協会が旅行ツアーを実施し、40名の参加があった。本ツアーは観光協会が継続的に実施していく意向である。また、来訪者の滞在日数も2016年度が1.27日だったのに対し、2022年度は1.47日となっており、目標値には達しなかったが、滞在型観光の推進により、伸びが見られる。</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【R3年度】 ・コロナ禍ではあるが斎場御嶽の観光客数は例年の20%を下回らない状況にある。受入環境の整備によりコロナ禍においても誘客を出来る状況にある。</p> <p>【R4年度】 ・コロナ禍ではあったが、旅行支援の政策の影響が斎場御嶽の観光客数は令和3年度に比べ、2倍以上に増加している。南城市の魅力度についても、アンケート調査の結果、魅力の向上が見られる。</p>			<p>【R3年度】 ・周辺エリアの景観形成計画に基づき、効果的な景観形成を図る必要がある。</p> <p>【R4年度】 ・現在は突発的な旅行需要の増加により、全国的にも観光客が多い状況にあるが、コロナ禍に実施した滞在型観光プログラム開発を積極的に活用して、一時的なものにしない工夫が必要。</p>			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【R3年度】 ・実施できなかったアンケート及び滞在型観光プログラムについては、R4年度に感染状況を注視しながら実施する。 ・斎場休憩施設も合一体化に快適な空間形成を目指し、更なる世界遺産としてのブランド化を目指す。また地域関係者と連携し計画通りに景観形成を進める。</p> <p>【R4年度】 ・第2次南城市観光振興計画の改定を行ったことで、南城市の観光の現状を詳細に把握することが出来た。一定の伸びは感じられるため、アフターコロナの旅行需要に対応し、滞在型観光の推進を図っていく。 ・斎場休憩施設については、地域と協議を進め、より来訪者がより快適に過ごせる空間になるように、維持管理や整備を実施していく。立ち上がった斎場御嶽の通り会とも協働し、居心地の良い通りとして景観を整備していく。</p>						

市町村名	11南城市
------	-------

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	南城市まつり実行委員会支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
	観光客の受け入れ体制の準備					
担当部課名	企画部	観光商工課	事業実施 年度	平成 28 ~ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
第4回南城市まつりのコンセプトである「交流機会創出による地域活性化」の実現に資するとともに、新型コロナウイルス感染症の社会的影響に鑑み、感染防止対策やオンラインでの企画を取り入れるなど、新しい生活様式や各種関係ガイドラインに沿ったまつりを実施する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額 ・執行額 【単位:千円】	～H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計
	A. 予算現額	30,000			15,000
B. 執行済額	29,947			15,000	44,947
うち 交付金充当額	23,957			12,000	35,957
執行率(%) (B/A)	99.8%			100.0%	99.9%
執行状況の説明	予定通り予算を執行することができた。				

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
南城市まつりの企画、運営	目標					実施
	実績					実施
オンライン配信	目標					YouTube 配信
	実績					YouTube 配信
イベント等の分散実施	目標					分散実施
	実績					分散実施

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
市外からの参加者のうち「南城市が好きになり、また訪れたい」と回答した人の割合:80%以上	目標					80%以上
	実績					93%
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R4年度 目標/発現年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	【R4成果目標】 市内滞在時間 1.65日以上	目標	1.65日 以上				
実績		1.47日					
状況説明	目標						
	実績						
【R4年度】 ・市内滞在時間は、1.47日となり目標値を下回っている。							

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【R4年度】 ・新型コロナウイルス感染症も落ち着き、国内観光客は回復傾向にあるものの、外国人観光客が伸びていない。	【R4年度】 ・R4年度に見直した観光振興計画に基づき、市内滞在時間の増に向けた取り組みを展開する必要がある。
--	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R4年度】
 ・新たなウェルネスツーリズムや多様な着地型ツアーの開発等、長期滞在型観光を推進する。また、外国人観光客を受け入れるためのセミナーを開催するなど、インバウンド受け入れ体制の強化を図る。